

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】山梨市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
13	2006.5.31	31	2009.1.30	山梨県	山梨市	38,686	289.87
構想の要約		秩父多摩甲斐国立公園の雄大な自然と豊富な温泉資源を活用した観光業、桃やぶどう、りんごなどの果樹栽培と市の面積の約80%を占める山林を活用し、生活系廃棄物のメタン発酵処理・燃料利用、廃食用油のBDF化・燃料利用、果樹・剪定枝等をはじめとする木質系バイオマスの燃料利用によるバイオマスの利活用を図る。					
構想に盛り込まれた事業		①バイオディーゼル精製施設、ペレット製造施設整備及び事業開始 ②木質バイオマス(ペレット)利用施設整備					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

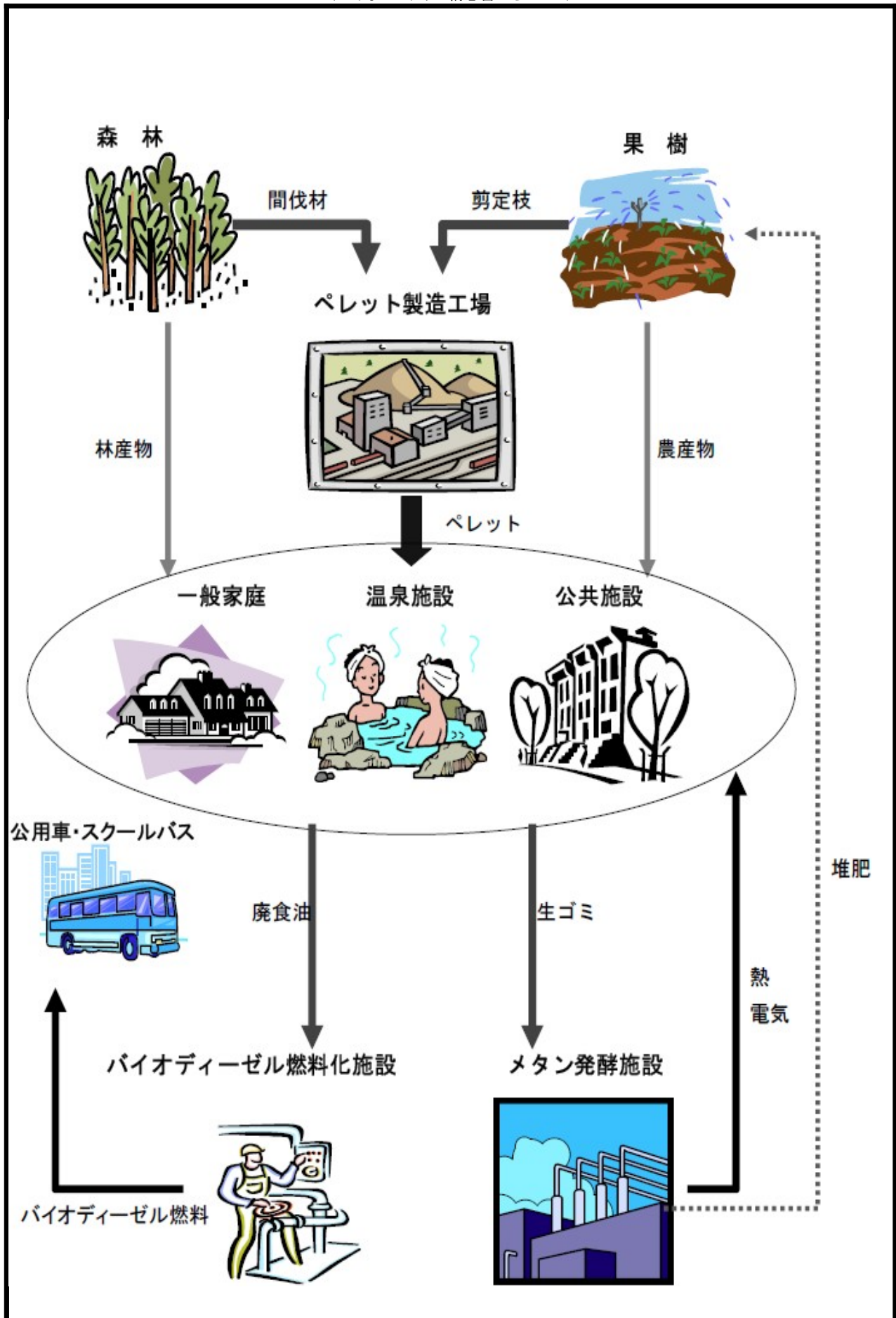
バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成20年、山梨市、廃食用油バイオディーゼル燃料製造施設の整備
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成20年、飯島製材所、林地残材・おが粉(製材残材)木質ペレット製造施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	変換・処理方法	仕向量	将来の変換・処理方法	将来的仕向量	将来的利用率
(廃棄物系バイオマス)						
家畜排せつ物等	356t	堆肥	340t	堆肥	356t	100%
生ゴミ等	3,051t	焼却処理	0t	堆肥・クリーンエネルギー	3,051t	100%
し尿・浄化槽汚泥	700t	焼却処理(含水量82%)	0t	堆肥・クリーンエネルギー	700t	100%
製材工場残材(パーク)	40t	堆肥	35t	堆肥・ペレット	40t	100%
製材工場残材(製材残材)	495t	堆肥	295t	堆肥・ペレット	495t	100%
廃食用油(事業系)	71,207ℓ		0ℓ	バイオディーゼル燃料化	64,087ℓ	90%
t換算(ℓ×0.92)	66t				59t	
廃食用油(一般廃棄物系)	56,583ℓ	バイオディーゼル燃料	3,948ℓ	バイオディーゼル燃料化	50,925ℓ	90%
t換算(ℓ×0.92)	52t	化	3.6t		47t	
(未利用バイオマス)						
稲わら・もみ殻	186 t	堆肥	186 t	—	—	100%
林地残材	14,110 t	切り捨て	0 t	ペレット	5,644t	40%
桃・葡萄剪定枝	5,286 t	焼却処理	0 t	ペレット	2,115t	40%

バイオマスタウン構想概要図
(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--